

がんセンター完成のお知らせ

がんセンター長 田村 茂行

わが国の死亡原因は「がん」がトップであり、今では国民の2人に1人が「がん」を患い、3人に1人が「がん」で亡くなる時代です。当院は、2007年に国から“地域がん診療連携拠点病院”に指定され、阪神間のがん診療の中心病院として、がん医療水準の向上に努めてまいりました。また、がん治療機能の更なる拡充を目指し、手術室の増築(2011年)、外来化学療法室(2011年)と内視鏡センター(2012年)の増設・移転等を行ってまいりました。

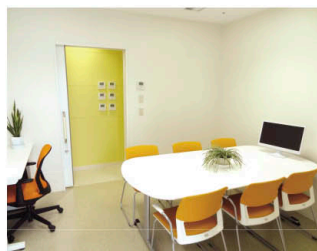
本年3月にはがんセンター棟が竣工し、現在、新しく導入された「放射線治療装置」による治療開始に向け、準備を進めています(詳細は裏面をご参照ください)。このがんセンターの完成により、手術および内視鏡治療、抗がん剤治療、そして放射線治療による高度ながん治療を組み合わせることで、質の高い集学的治療を提供する体制が整いました。また、がん相談や緩和ケアなど、がん治療をサポートする体制も充実させてまいります。高度かつ患者様にやさしいがん治療、緩和ケア、チーム医療を実践する「関西ろうさい病院がんセンター」にご期待ください。



がんセンター外観(延床面積2,038㎡)



明るいオレンジと緑を基調としたがんセンター内部(受付・相談室)

バリアンメディカル社製
放射線治療装置 True Beam

脳卒中センター開設のご案内

脳卒中センター長 瀧 琢有

脳卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりして、脳細胞が壊死してしまう病気で、命を取り留めても重い後遺症が残ることが多く、ご本人のみならず、ご家族にも大きな負担がのしかかる病気です。しかし、早期に適切な治療を受けると、後遺症を軽減できることがあります。当院では、地域の基幹病院として貢献すべく、この度、24時間365日体制で脳卒中の救急医療を行う“脳卒中センター”を開設いたしました。

パイプライン・フラットパネル検出器
を備えた脳血管撮影システム鮮明な画像で従来診断できなかった
病変も診断可能な3.0 テスラ MRI0.35秒で3D画像を
鮮明に撮影可能な 320列 CT欧州以外では初導入のドレーゲル社オペラ
バイオクリーンルーム class100の手術室

ICUに脳卒中専用急性期病床を確保し、最新の脳血管撮影機、3.0テスラMRI、320列CTを揃え、脳神経外科医師、脳神経内科医師、専門看護師、理学療法士、管理栄養士や医療ソーシャルワーカーなど各専門のスタッフが医療チームを編成し、超急性期脳血管障害に対して集学的高度専門医療を行ってまいります。また、脳血管障害に対するセカンドオピニオン外来も新設し、脳ドックなどで見つかる無症候性の脳神経外科疾患、慢性期の内科的治療などに対する専門的知識をご提供できるようになりました。詳しくは、当院 医療連携総合センター内地域医療室まで、お問い合わせください。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西ろうさい病院

尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

HP <http://www.kanrou.net/>ブログ <http://www.kanrou.net/blog>

発行人 林 紀夫 編集人 関根 久芳

